



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月1日

上場会社名 ファイズホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9325 URL <https://www.phyz.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 西村 考史 TEL 06-6453-0250
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	20,721	14.2	1,045	14.9	1,079	12.0	673	7.7
2023年3月期第3四半期	18,147	44.0	909	161.3	964	181.9	625	201.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 733百万円 (15.6%) 2023年3月期第3四半期 634百万円 (190.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	62.81	62.71
2023年3月期第3四半期	58.32	58.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,709	3,164	40.2
2023年3月期	6,861	2,824	40.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,102百万円 2023年3月期 2,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.00	—	16.00	23.00
2024年3月期	—	19.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	13.00	32.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当13円00銭 記念配当6円00銭（会社設立10周年記念配当）

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	18.3	1,400	22.5	1,400	16.0	920	13.9	85.75

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 詳細は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	10,822,800株	2023年3月期	10,822,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	94,511株	2023年3月期	94,481株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	10,728,318株	2023年3月期3Q	10,724,152株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、インバウンド需要の回復や日経平均株価の上昇により景気好転への期待が高まる一方、物価上昇に伴う消費者の買い控えやエネルギー価格の高止まりが続くなど先行きを楽観視できない経営環境が続いております。

国内の物流市場は、消費の冷え込みによる出荷減や在庫調整で荷動きが鈍化する中、燃料費や人件費が高騰するなど不安定な状況が続きました。また、トラックドライバーの残業時間が規制される「2024年問題」の適用を控え先行き不透明な状況が続いております。

このような厳しい経済・社会情勢下において、当社グループでは、主にEC（注1）ビジネスを手掛ける企業を対象にしたサードパーティー・ロジスティクス（3PL）（注2）事業である「ECソリューションサービス事業」として、①物流センターの運営機能（業務）を提供する「オペレーションサービス」、②拠点間の幹線輸送や配車プラットフォーム機能の提供（利用運送）、ルート配送やラストワンマイル配送などを担う「トランスポートサービス」の2つのサービスメニューを軸に事業拡大を図ってきました。

また、輸出入貨物に関する海外および国内の運送取扱（ドレージ手配等）や、通関手続き代行サービスを提供する「国際物流サービス事業」の事業拡大にも努めてきました。

「オペレーションサービス」では、大手ネット通販会社向けや流通業向けといった既存の物流センター運営受託業務を中心に事業を展開しました。また、神奈川県海老名市、埼玉県久喜市や愛知県岩倉市、三重県桑名郡、大阪府茨木市、大阪府堺市に開設した新規事業所の安定稼働にむけた採用教育などに投資を行いました。

「トランスポートサービス」では、配車プラットフォーム事業において、取引社数（荷主および実運送会社）および成約件数（マッチング件数）が拡大しました。実運送では、EC案件を中心とした拠点間輸送（幹線輸送）業務の受託増、家電専門店向けEC商品配送をはじめとするラストワンマイル配送業務での配送カバーエリアの拡大などに取り組みました。酒類の配送や空港配送といった新サービスも本格化しました。

「国際物流サービス」では、不採算案件やターゲット領域の見直しなどに取り組み一方、新規クライアントの獲得に向けた営業開拓を強化しました。

「その他サービス」では、グループ会社の日本システムクリエイティブ株式会社を通じて情報システム開発受託事業やシステム保守サポート事業、技術者派遣事業などの拡販を進めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高20,721,963千円（前年同四半期比14.2%増）、営業利益1,045,014千円（前年同四半期比14.9%増）、経常利益1,079,946千円（前年同四半期比12.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益673,824千円（前年同四半期比7.7%増）となり、売上高及び各段階利益について過去最高を達成しました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。セグメントの売上高は外部顧客に対するものです。

ECソリューションサービス事業

物流センターの運営受託事業では、既存事業所における作業生産性の向上に注力しました。また、大手家電専門店向け倉庫運営サービスを提供する「堺築港八幡事業所」、自動車部品などを扱う「岩倉事業所」などの新規事業所開設に向けた採用教育などに投資し、順次安定稼働しております。

一方、輸配送の領域では、配車プラットフォームサービスの取引社数および成約件数が伸長しました。拠点間輸送ではEC関連商品を中心に、日用雑貨や飲料などの需要の掘り起こしに努めました。目前に迫った「2024年問題」によるドライバー人件費や備車費などの費用増加への対応の一環として、取引先との運賃・料金の見直し交渉にも取り組みました。ラストワンマイル配送では、受託対象エリアや取扱商品カテゴリーの拡大、配送協力会社の再編やパートナー関係の強化を進めました。

その結果、当セグメントの売上高は18,986,065千円（前年同四半期比16.7%増）、セグメント利益は904,496千円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

また、ECソリューションサービス事業の各サービス別の売上は次のとおりであります。

① オペレーションサービス

ネット通販会社向け物流センター、大手日雑メーカー向けセンター、大手流通業向けセンターなどを運営する既存事業所の受託業務が堅調に推移しました。新たにオープンした営業所や事業所での請負業務や人材派遣業務なども業績拡大に寄与しました。人材紹介サービスの取り扱い件数も増加しました。その結果、売上高は12,830,626千円（前年同四半期比16.3%増）となりました。

② トランスポートサービス

配車プラットフォームサービスの取引社数および成約件数が伸長しました。EC商品を中心とした拠点間輸送ル

ートや運賃の見直しなども進めました。ラストワンマイル配送では、対象エリアや取扱商品群の拡大、新サービスの提供に取り組みました。その結果、売上高は6,155,439千円（前年同四半期比17.5%増）となりました。

国際物流サービス事業

中国経済の不透明感や円安が続く中、不採算案件からの撤退やターゲット領域の見直しなどを進めました。その一方で、国内パートナー企業との協業、新規取引先の開拓などに取り組みました。その結果、当セグメントの売上高は615,719千円（前年同四半期比37.6%減）となりました。

その他

その他サービス事業としては、グループ会社である日本システムクリエイティブ株式会社を通じて、市場での旺盛な開発サポート需要や人材不足などを背景に、情報システム開発サービスやシステム保守サービス、技術者派遣サービスの拡販に成功しました。その結果、当セグメントの売上高は1,120,178千円（前年同四半期比25.6%増）となりました。

(注1)ECとは、インターネットやコンピュータなど電子的な手段を介して行う商取引の総称。また、Webサイトなどを通じて企業が消費者に商品を販売するオンラインショップのこと

(注2)サードパーティーロジスティクスとは、荷主が第三者であるロジスティクス業者に対し、物流業務全般を長期間一括して委託すること

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ848,151千円増加し、7,709,960千円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が1,408,631千円増加した一方、現金及び預金が452,682千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ508,201千円増加し、4,545,061千円となりました。これは主に買掛金が506,280千円、未払費用が571,119千円増加した一方、未払法人税等が252,964千円、1年内返済予定を含む長期借入金175,368千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ339,949千円増加し、3,164,899千円となりました。これは主に四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月10日発表の「2023年3月期決算短信」からの変更はありません。今後、重要な変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,506,621	2,053,938
受取手形及び売掛金	2,487,167	3,895,799
商品	3,079	1,709
貯蔵品	2,881	2,249
未収還付法人税等	3,131	—
その他	94,502	100,985
貸倒引当金	△2,921	△2,131
流動資産合計	5,094,461	6,052,552
固定資産		
有形固定資産	647,793	635,379
無形固定資産		
のれん	210,872	192,096
その他	145,270	128,958
無形固定資産合計	356,142	321,055
投資その他の資産		
投資有価証券	69,830	52,779
敷金及び保証金	398,361	415,176
その他	295,219	233,017
投資その他の資産合計	763,411	700,974
固定資産合計	1,767,347	1,657,408
資産合計	6,861,809	7,709,960
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,055,724	1,562,004
短期借入金	15,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	277,395	147,195
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払費用	701,297	1,272,416
未払法人税等	382,868	129,904
未払消費税等	365,435	392,920
賞与引当金	51,160	24,013
その他	463,667	385,389
流動負債合計	3,317,548	3,943,842
固定負債		
長期借入金	327,107	281,939
退職給付に係る負債	2,694	2,735
繰延税金負債	97,966	86,320
役員退職慰労引当金	54,852	60,545
資産除去債務	6,233	6,251
その他	230,457	163,426
固定負債合計	719,311	601,218
負債合計	4,036,859	4,545,061

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	326,522	326,522
資本剰余金	245,048	254,387
利益剰余金	2,267,798	2,566,132
自己株式	△45,548	△45,582
株主資本合計	2,793,821	3,101,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,802	1,374
その他の包括利益累計額合計	1,802	1,374
非支配株主持分	29,325	62,065
純資産合計	2,824,949	3,164,899
負債純資産合計	6,861,809	7,709,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	18,147,839	20,721,963
売上原価	16,417,922	18,904,657
売上総利益	1,729,916	1,817,305
販売費及び一般管理費	820,693	772,291
営業利益	909,222	1,045,014
営業外収益		
受取利息	27	40
受取配当金	1,695	1,130
固定資産売却益	57,319	21,077
投資有価証券売却益	-	6,659
助成金収入	1,443	6,715
雑収入	10,022	7,628
営業外収益合計	70,509	43,252
営業外費用		
支払利息	6,093	5,053
固定資産除売却損	1,446	1,169
和解金	6,900	-
雑損失	863	2,097
営業外費用合計	15,303	8,320
経常利益	964,428	1,079,946
税金等調整前四半期純利益	964,428	1,079,946
法人税等	331,051	348,591
四半期純利益	633,376	731,354
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,907	57,529
親会社株主に帰属する四半期純利益	625,468	673,824

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	633,376	731,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	826	1,699
その他の包括利益合計	826	1,699
四半期包括利益	634,203	733,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	626,295	673,396
非支配株主に係る四半期包括利益	7,907	59,657

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等は法人税等調整額を含めた金額であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。